

第3回日本演奏芸術セラピー研究会大会プログラム

9:00-9:05 開会挨拶

9:05-10:10 一般演題

座長 高野吉朗 (大阪芸術大)

T1. 音楽家の障害に対するシームレスな支援モデルの構築に向けての取り組み

松本拓也 医療法人やつか整形外科内科

T2. 高校吹奏楽部における活動性質と身体症状および演奏満足度の変化

—理学療法士による直接的指導介入の効果—

木村友紀 松陰神社前整形外科

山本 篤 大阪芸術大学

T3. アマチュア歌唱者を対象とした発声時の共鳴周波数と頭頸部の動態との関係

飯島大志 岩崎大貴 浅野千尋 声とからだのトレーニングスタジオ ARIA

T4. ストニア診断からワンハンドピアノという新しい音楽文化への関心の広がり

—SCAT と複線径路・等至性モデリング (TEM) による分析—

田島明子 医療創生大学

神保洋平 湘南医療大学

T5. 腰椎分離すべり症術後にラテンダンス競技復帰に至った一症例

矢次 彩 福岡大病院

高野吉朗 大阪芸術大

10:10-10:50 ミニレクチャー

座長 山本 篤 (大阪芸術大・Merge Labo)

T6. ピアニストのオーバーユース障害と演奏動作の解析

酒井直隆 医療法人アーツメディック

10:50-11:00 休憩

11:00-12:30 合同シンポジウム「ダンサーの疲労骨折 - 予防と治療の戦略」

(日本演奏芸術医学会 第4回学術集会プログラム 参照)

12:30-13:30 昼休

13:30-13:45 総会

13:45-13:55 (会場移動)

13:55-14:55 講演 1

座長 中村純子 (東京藝術大)

T7. 理学療法士の専門性から視る演奏の動き

山本 篤 大阪芸術大・Merge Labo

14:55-15:05 休憩

15:05-16:05 講演 2

座長 廣幡健二 (東京科学大)

T8. バレエダンサーを支えるために必要なスキル - 臨床×現場×研究から見えた本質

上村杏菜 リリズスポーツクリニック・横浜市スポーツ医科学センター

16:05-17:05 講演 3

座長 上村杏菜

T9. セラピストはどのようにアーティストを支えていけるのか

永岡結香 永寿総合病院リハビリテーション科

17:05 閉会挨拶と第4回開催案内